

2018年5月7日
凸版印刷株式会社

第11回 トップパン チャリティーコンサートを開催
国際社会の課題である「識字能力の向上」を支援する社会貢献事業として
2018年6月1日に開催

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、2018年6月1日(金)に、「第11回 トップパン チャリティーコンサート」を開催します。

「トップパン チャリティーコンサート」は、凸版印刷が国際社会の課題である「識字能力の向上」を支援する社会貢献活動として2008年から毎年開催しています。

第11回となる今回は、現代フルート界のトッププレーヤーであるカール＝ハインツ・シュッツと、最年少でウィーン国立歌劇場管弦楽団の楽員となり、現在はソリストとして活躍する若きハープ奏者サラ・クリストの二人が奏でる気品にあふれたかぐわしい音色をお届けします。

本コンサートの収益は全額、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(以下 ACCU)に寄附し、同団体が推進する識字教育支援活動の資金として活用されます。

■ 第11回 トップパン チャリティーコンサートの概要

日時	2018年6月1日(金) 19時開演
会場	トップパンホール (東京都文京区水道1-3-3)
出演	カール＝ハインツ・シュッツ(フルート) サラ・クリスト(ハープ)
席数	408席
チケット	全席指定 6,000円(消費税込み) ※未就学児童入場不可、託児サービスあり(有料、要予約)
チケット 申込	トップパンホールチケットセンター(http://www.toppanhall.com/)、 チケットぴあ(https://t.pia.jp/)
主催	凸版印刷株式会社
寄附先	公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

■ トップパン チャリティーコンサートを通じた途上国の識字能力向上支援活動について



©ACCU

凸版印刷は 1900 年の創業以来、印刷を核としたさまざまな事業を通じて「情報・文化の担い手として」という企業理念の実現を目指し、文化や芸術の発展、印刷業界全体の発展に寄与してきました。社会文化貢献活動としては、創業 100 周年の 2000 年に開設した「印刷博物館」、クラシック音楽専門のコンサートホール「トッパンホール」などを中心に、さまざまな活動を展開してきました。

2006 年 9 月に、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」への参加・支持を表明したことを契機に、よりグローバルな視点に立った社会貢献活動の重要性を認識し、2008 年から「トッパン チャリティーコンサート」を毎年開催。このコンサートの収益金を、途上国の女性、特に幼い子どもを育てる母親や妊産婦の識字能力の向上を支援すべく、ACCU がカンボジアで実施している「SMILE Asia プロジェクト」の活動資金として寄附しています。プロジェクトでは、識字教育のほかにも母子のための保健衛生やライフスキルに関わるカリキュラムを実施することで、生活レベル向上に向けた支援も行っています。



識字教室のテキストブック



ノート代わりの黒板に文字を書く受講



読書コーナー

生

©ACCU

<識字教室受講生の声>

セク・ポアンさん(37 歳・子ども 5 人)

学校に通ったことがなく、読み書き計算を学びたくて識字教室に参加しました。以前は市場に収穫物を売りに行っても度々安く買い取られたり、おつりの計算で騙されたりしましたが、今は、計算ができるようになったので損をしなくなりました。

ニェット・ソマリさん(35 歳・子ども 3 人)

識字教室に参加する前は道路標識が読めず、村から出るのが怖かったです。目的地にたどり着くまでに騙された経験もあります。生水を使わなくなったり、料理や授乳の前に石鹸で手を洗うようになり、家族が大病にかかることがなくなりました。

■ 出演者プロフィール

カール＝ハインツ・シュッツ(フルート)



インスブルック生まれ。フォアアールベルク州立音楽院、リヨン国立高等音楽院で学ぶ。1998 年カール・ニールセン国際コンクール、99 年クラクフ国際フルート・コンクールで優勝。シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団の首席奏者を経て、2011 年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とウィーン国立歌劇場管弦楽団ソロ・フルート奏者就任。13 年よりアンサンブル・ウィーン＝ベルリン、ウィーン・リング・アンサンブルのメンバーとしても活躍。

サラ・クリスト(ハープ)



10 歳よりハープを始め、13 歳でベルリン交響楽団との共演でデビュー。2002 年、21 歳でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と共演、ウィーン国立歌劇場管弦楽団の最年少楽員(当時)として入団。2 年後、ソリストとしての活動を望み、同楽団を退団。以降、シュターツカペレ・ドレスデン、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団などで演奏するほか、エディンバラ音楽祭、ルツェルン音楽祭などに参加。父は、トッパンホールへの出演も数多い、元ベルリン・フィル首席ヴィオラ奏者、ヴォルムラム・クリスト。

- * 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。
- * 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のもので、その後予告なしに変更されることがあります。

以 上